

藤戸

F U J I T O

廣田 幸稔
Hirota Yukitoshi



狂言

千鳥

茂山 童司

ごあんない

生形 貴重



岡山県倉敷市浮州岩址

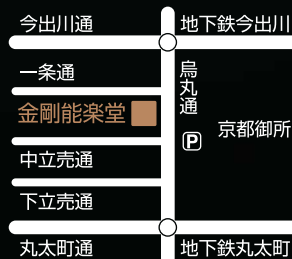
面／大和作曲見 腰蓑／金剛家蔵

第六回廣田鑑賞会能

平成18年5月14日(日) 午後1時30分始曲

◆料金／【一般】8,000円 【学生】3,000円

◆主催／廣田鑑賞会 ◆指導／宗家 金剛永謹 ◆後援／京都新聞・金剛会



会場 **金剛能楽堂**

TEL.075-441-7222
京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

第六回 廣田鑑賞会記念能

午後・時半始曲 金剛能楽堂

ご挨拶

時下、みな様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。私儀
 昨年十二月、「第五回廣田鑑賞会 葛城神楽」のシテの演技において、
 平成十七年度文化庁芸術祭新人賞を受賞いたしました。皆さまには、
 いつも当鑑賞会に多大なご支援、ご理解をいただきましたこと、厚く
 御礼申し上げます。

さて、今回の「藤戸」は子を想う母の心情がテーマです。戦乱の中世
 から今も変わらぬ親子の情を伝える曲を、「母の日」に選びました。ご
 あんないは表千家不審庵顧問、『平家物語』研究で有名な生形貴重氏、
 狂言は海浜にちなんで「千鳥」を演じていただきます。
 皆さまのご高覧を、心よりお待ちしております。 廣田 幸稔

◆ 番組

◎午後一時三十分始曲

狂言 千鳥

茂山童司

丸石やすし
茂山千之丞

ごあんない 千里金襴大学人間社会学部教授

生形貴重

一休 憩 一 二十分

廣田 幸稔

能 藤戸

永留浩史

河村 大

前川光範

間

植田隆之亮
森本幸治
茂山あきら

宇高通成
金剛永謹
廣田泰能

林 光寿

掛川昭二
今井清隆
松野恭憲
種田道一

◎午後四時頃終了予定
都合により内容の一部変更する場合がございます。

狂言 「千鳥」

太郎冠者は、つげがたまった酒屋で酒を求めてくるよ
 うに主人に命じられてでかけるが、酒屋はなかなか酒を
 渡さない。そこで、津島祭りの仕方話(千鳥を獲る、山鉦
 をひく、流鏝馬など)をはじめ、いつの間にか酒屋の主人
 を話にひきこんでしまう。酒屋がのつてきたところで隙
 をみて、まんまと酒樽をとって逃げる。

浜の千鳥が友を呼ぶ声の歌謡が聞きどころ。
 ちりちりや、ちりちり。

能 「藤戸」

佐々木盛綱は藤戸の藤戸合戦先陣の恩賞に備前
 (岡山県)児島を賜り、このたび新領主として国入
 りした。そこで起訴のあるものは申し出るように触
 れると、中年の女が我が子を盛綱に殺されたと言っ
 て現れる。盛綱は一時は否定するが、女が責め恨む
 と、とうとう合戦の際、馬で渡れる浅瀬を教えた漁
 師の口を封じ、海に沈めたことを認める。合戦とは
 いえ、罪もない息子を殺めたことを女に詫び、追善
 供養と遺族扶持を約束する。

読経の中、殺害された漁師が亡霊となって現れ、
 供養によつて菩提の果を得た事を告げる。

出典は『平家物語』卷十「藤戸」



廣田 幸稔 (ひろた ゆきとし)

金剛流シテ方先代および当代宗家・
 金剛永謹と父陸一に師事

重要無形文化財保持

京都市芸術新人賞 文化庁芸術祭新人賞

※当日本番組あります。

第7回 廣田鑑賞会能	平成十八年十月一日(日)	能「野宮」廣田幸稔	狂言「布施無経」山本東次郎	解説 植木朝子
〈次回公演予定〉第8回 廣田鑑賞会能	平成十九年五月十三日(日)	能「熊野」廣田幸稔	ほか狂言	解説
菊之会	平成十八年十二月十日(日)	能「井筒」廣田泰能		

FAXにても、ご予約を承ります。 廣田鑑賞会 075-722-9123までご送信ください。 切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第6回 廣田鑑賞会能 申し込み》

■お名前

■お電話・FAX

■ご住所

■一般券(8,000円) 枚 ■学生券(3,000円) 枚

第6回のみ 会員入会(第6回、第7回 年2回公演分) 会員 年会費 15,000円

※ □内にチェックして下さい

チケット取扱所

●ローソンチケット(Lコード 57900) ●金剛能楽堂075-441-7222 ●京都新聞社文化センター
 ●檜書店 ●京都都会館プレイガイド 075-771-6056 ●廣田鑑賞会 075-722-9123